

分類	テーマ	メニュー	達成を目指す目標	最終目標
脱炭素	温室効果ガス削減	(1)	脱炭素・環境保全型農業の普及	水稻栽培における脱炭素・環境保全型農業の定着【米穀】 ■中干延長・秋耕割合80% ■全農統一フレコン導入80%
				効率的な輸送体系確立、全農統一フレコンの定着化【米穀】
		(2)	バイオ炭施用による土壌改良	園芸品目圃場でバイオ炭施用、土壌改良効果の検証【営農】
		(3)	牛の「げっぷ」抑制の実証と成果物の事業化検討	牛の「げっぷ」抑制による温室効果ガス削減【畜産】
環境保全	適正施肥	(4)	土壌診断による適正施肥	土壌診断実施件数 5,000点【営農】
	農薬使用量低減	(5)	箱剤インターバル防除（水稻初期害虫・紋枯病）による農薬使用量減	インターバル防除方法の確立【営農】
	プラスチックの排出抑制	(6)	新規脱プラ肥料の試験	脱プラ肥料2種試験完了および普及に向けた協議・検討【営農】
	特別栽培米の面積維持	(7)	特別栽培米の面積確保（収量確保資材導入）	令和7年産米面積の維持5,178ha【営農】
持続可能な農業	省力化	(8)	スマート技術の活用による持続可能な営農活動の展開	■スマート技術活用件数267件【営農】
			農作業省力化に向けた農業機械促進	省力化農機の更なる普及（自動操舵・直進アシスト機能搭載機、ラジコン草刈機）【生資】
	気候変動への対応	(9)	バイオスティミュラントを活用	バイオスティミュラント施用技術の確立
			バイオスティミュラント資材の施用による単収増・品質向上・化学肥料削減	バイオスティミュラント資材を組入れた栽培体系を確立。【園芸】
			植物が本来持っている力を引き出し、環境ストレスへ耐性を高め植物の成長促進に寄与する	試験を通じ農家が納得し普及拡大されている。【生資】
その他	内外への発信	(10)	取り組み内容の発信	各種媒体による取り組み発信【管理】